

議員説明会 会議録

1 開催日時

令和7年3月6日（木） 午前11時24分 ～ 午後0時30分

2 件名

新花巻図書館の建設候補地に関する市民会議結果について

3 議事録

（岩間総合政策部長）

それでは再開させていただきます。

本日の2項目目、新花巻図書館の建設候補地に関する市民会議結果について、生涯学習部新花巻図書館計画室よりご説明いたします。

菅野生涯学習部長。

（菅野生涯学習部長）

生涯学習部長の菅野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

生涯学習部新花巻図書館計画室所管の新花巻図書館の建設場所につきましては、これまでも議会におきましてご説明してまいりました通り、無作為で抽出された市民の皆さんで構成された市民会議を開催し、話し合っていたいただきましたけれども、令和7年2月15日の第4回の会議をもって終了いたしました。

その会議の結果を踏まえまして、市として検討した結果、新花巻図書館の建設候補地として花巻駅前を選択したいと考えておりますので、会議の結果と市の見方についてご説明させていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは担当課長の方より説明いたします。

（岩間総合政策部長）

梅原新花巻図書館計画室長。

（梅原新花巻図書館計画室長）

生涯学習部新花巻図書館計画室長の梅原でございます。

資料は、お手元に、A4横版の「新花巻図書館の建設候補地に関する市民会議結果について」A3横版の「資料1-1 意見整理表まとめ（総合花巻病院跡地）」、「資料2-1 意見整理表まとめ（花巻駅前）」資料3「市民会議ヒアリングシート確認1から5自由記述まとめ」、その他の資料として、ヒアリングシートの様式、ニュースレターを準備しておりますが、「新花巻図書館の建設候補地に関する市民会議結果について」に基づきご説明いたします。

それでは着座にて説明させていただきます。

2ページをお開きください。

今回開催いたしました市民会議は、新花巻図書館の建設候補地に関して比較調査の結果

等を見ながら、市民の皆さんが考え、感じていることを対話を通じて共有し、それらの意見を可視化・整理することで、市が新花巻図書館の建設候補地を選定するための判断材料とすることを目的として実施いたしました。

会議の参加者につきましては、令和6年3月末現在の住民基本台帳より、15歳以上の3,500人を無作為で抽出し案内を送付し、10代から80代の75名の方から参加申し込みをいただきました。

各回の参加者については、第1回目が65名、第2回64名、第3回57名、第4回53名となっております。4回全てに参加された方が42名、3回参加された方が19名、2回参加された方が6名、1回のみ参加された方が2名、参加希望されましたが都合等により参加できなかった方が6名でした。

次に3ページでございます。

会議は、慶應義塾大学大学院特任教授の山口覚氏をメインファシリテーターに迎え、世代別に参加者を11グループに分け、各グループのテーブルファシリテーターは山口教授の研修を受けた生涯学習部以外の市職員が担当いたしました。

それぞれの会議の冒頭では、山口教授が対話を円滑に進めるための「対話の心得」として、「『私たち』と思う」こと、「話に耳を澄ませて聴く」こと、「否定も断定もしない」こと、「答えは一つと思わない」こと、「一人1回2分以内」、「アイディアをつなげる」こと、「心の変容を許す」ことを説明され、またさまざまな考え方を認め合いながら活動を進めていくことを重要視していること、そのために参加者の心理的な安全性を確保することが欠かせないこと、誰もが自分の意見を自由に言える温かい環境を作りたいと考えていること、自分の思い込みを外し、新たな発見や気づきを得る場となることを目指していること、全員が均等に話す機会を持てるようご協力してほしいなど、参加者をお願いし、会議を進められました。

配付いたしました市民会議ニュースレターをご覧くださいと思いますが、こちらニュースレターの写真にありますとおり、参加者が話しやすい雰囲気、グループごとに活発に対話いただきました。ニュースレターには参加者の声も記載しておりますので、併せてご確認くださいと思います。

市民会議、第1回目は昨年11月17日日曜日に開催しまして、市民会議の趣旨説明をした上で、参加者が自分にとっての図書館についてグループで対話し、市から建設候補地の比較調査結果について説明をさせていただき、令和2年から令和6年まで市にいただいております要望や意見交換・ワークショップ・署名などの情報も共有いたしました。その後、候補地ごとにメリットやデメリットについてグループで対話していただいております。

第2回目は12月21日土曜日に開催いたしました。会議開始前の午前中には希望者の方、9名の方でしたけれども、双方の建設候補地周辺を徒歩で確認いたしました。午後からの会議では、補足資料の説明や署名・要望等の資料の説明、また、前回第1回の話し合いで出された候補地ごとのメリットやデメリットとそれらの分類を、AIを使って整理したものについて、皆さんの意見の確認とそれらに不足がないか見ていただきました。

第3回目は、年が明けて1月26日、日曜日に開催しまして、2回目の会議の際に、参加者から求められた補足資料の説明を行い、前回までに挙げられていたデメリットに対する解決策を検討いたしました。そして最後に、これまでの対話を経て、現時点で自分ほど

う思うか話し合いを行っております。

最後、第4回目、これは予備の回を第4回目として開催しましたが、2月15日土曜日に開催しまして、これまでのメリット・デメリット、デメリットの解決策を整理したものを確認いただき、これまでの対話を踏まえて、自分がどう思うかなどについてグループを横断して話し合っていただきました。その後、参加者個人の考えをヒアリングシートに記入していただいて、その結果の一部を中間結果として参加者の皆さんと共有しております。

次のページ、4ページ目をお開きください。

第4回目の会議で、参加者の意見の傾向をヒアリングシートにより、確認しております。

ヒアリングシートでは、第1回の話し合いの中で出されたメリット・デメリットと、それらの分類をAIを使って項目立てし、それぞれの候補地のメリット・デメリット及びデメリットの解決策を「都市計画的視点」という大きな視点と「建築計画的視点」の具体的な視点の二つの視点を踏まえ、10の分類、「活性化」「文化・歴史」「他施設との連携」「周辺環境」「アクセス」「安全」「防災」「土地」「駐車場」「費用」、これら10の分類について、参加者の皆さんの考えを伺っております。

説明は、まず【確認1】として「10の「視点・分類」ごとに考えた場合、どちらの場所のほうが良いと思いますか。理由もお書きください。」としまして、選択肢「明らかに病院が良いと思う。」「どちらかといえば病院が良いと思う。」「どちらでもよい。」「どちらかといえば駅前が良いと思う。」「明らかに駅前が良いと思う。」の中から自分の考えに近いものを選択し、それを選んだ理由も記載いただきました。

次に【確認2】ですが、「10の「視点・分類」のうち、重要と思うものについて、1位から5位まで順番をつけて書いてください。理由もお書きください。」とし、分類10項目の中で特に重要と思うもの5項目を選び、優先順位と選択理由を記載いただきました。

【確認3】は、「どちらの建設候補地になったとしても大切にしなければならないことはなんですか。」【確認4】は、「今回の市民会議の位置づけ・やり方についてどう思われましたか。」【確認5】は、「その他、図書館の建設候補地の選定のプロセスに携わったご感想など、ご自由に記入してください。」とし、それぞれ自由記載していただきました。

次の5ページをご覧ください。

これはヒアリングシートの集計ですけれども、第4回市民会議参加者51名ですが、第4回会議で途中で退席された方2名と第4回市民会議に参加できなかった方で市民会議に2回以上参加された方16名に郵送でヒアリングシートの提出を依頼しております。返信があった方は14名ということになります。

次、6ページ7ページをご覧ください。

ここは確認1と確認2の集計となります。ご確認いただければと思います。

次の8ページ9ページですけれども、こちらからが結果について分析した内容となります。

8ページは確認2で、「10の「視点・分類」のうち、重要と思うものについて、1位から5位まで順番をつけて書いてください。理由もお書きください。」の確認について、参加者がその分類を重要と考えた自由記述の理由をそれぞれAIにより要約したことになります。

なお、お配りしております資料3に参加者からいただいた内容をそのまま記載しております。そちらも併せてご確認くださいと思います。

9ページは、確認2でそれぞれの重要と思う「視点・分類」について、1位から5位までの人数の積み上げです。

重要視された「視点・分類」の上位5つは、⑤アクセス56人、①活性化51人、⑥安全42人、④周辺環境40人、⑨駐車場34人となっておりまして、以下、⑩費用23人、③他施設との連携19人、⑧土地19人、②文化・歴史17人、⑦防災13人の順となっております。

10ページ、11ページについてご説明します。

確認2で重要視された上位5つの「視点・分類」を踏まえまして、確認1でどちらの場所が良いか聞いた中で人数が最も多いものは、⑤アクセス「明らかに駅前」42人、①活性化「明らかに駅前」27人、⑥安全「どちらかといえば駅前」25人、④周辺環境「どちらかといえば駅前」21人、⑨駐車場「どちらかといえば病院」24人となっております。それ以降は、⑩費用「どちらでもよい」27人、③他施設との連携「どちらでもよい」26人、⑧土地「どちらかといえば病院」16人、②文化・歴史「どちらでもよい」30人、⑦防災は「どちらでもよい」28人となっております。

11ページは、8ページと同様にそれぞれの分類の選択理由をAIにより要約しております。なお、こちらもお手元にあります資料3に、参加者からいただいた内容をそのまま記載しておりますので、そちらも併せてご確認くださいと思います。

重要視されました上位5つの「視点・分類」を見ますと、⑤アクセスは「明らかに駅前」が選択されており、「駅前はバスや電車などの公共交通機関が整っており、行きやすい」などの理由が挙げられております。次に、①活性化は「明らかに駅前」が選択されており、「駅前は既存の商業地域であり、活性化の基盤がある」や、「新しい図書館ができることで駅が活性化し、花巻の印象が良くなる」といった理由が挙げられております。⑥安全は「どちらかといえば駅前」であり、「駅前は交番が近く、明るく夜間も安心」や「人通りが多い駅前の方が安全である」。④周辺環境は「どちらかといえば駅前」であり、「駅前はJRやバスの待ち時間を有効活用できるうえ、整備が整っており、近くに交番があり安心感もある」や「人通りが多く、夜でも明るくて安心できるため、賑やかな場所であることが魅力的である」、「設計次第で電車の振動や騒音はカバーできる」などが挙げられています。⑨駐車場は、「どちらかといえば病院」が選択されており、「病院跡地は広く駐車場の確保が容易」、「駅前の駐車スペースが狭いため混雑する可能性がある」との理由が挙げられております。

12ページから14ページでございます。

こちらのページは確認3の「どちらの建設候補地になったとしても大切にしなければならないことはなんですか。」に対する意見、確認4の「今回の市民会議の位置付け・やり方についてどう思われましたか。」に対する回答、確認5の「その他、図書館の建設候補地の選定のプロセスに携わったご感想など、ご自由に記入してください。」に対する回答をAIにより要約したものでございます。こちらにつきましても、お手元の資料3に参加者からいただいた内容をそのまま記載しておりますので、ご確認くださいと思います。

次に、15ページです。

15ページは、市民会議で参加者から出されたデメリットとその解決策をAIにより要約し

ております。なお、お手元にあります資料1-1と資料2-1に市民会議でまとめられたメリットとデメリット、デメリットの解決策について記載しておりますので、ご確認いただければと思います。

16ページ、17ページでございます。

市民会議では、参加者が市民の目線で2か所の図書館建設候補地について、メリットやデメリット、デメリットの解決策について話し合い、どちらの候補地が望ましいか自由に意見を述べるなど対話を繰り返す中で、それぞれ個人の意見をまとめ、ヒアリングシートに記載しました。

市はその結果を踏まえ、次のとおり新花巻図書館の建設候補地を考えました。

まず、確認2で重要視された分類の上位五つは、1. アクセス、2. 活性化、3. 安全、4. 周辺環境、5. 駐車場の順番でございまして、重要視された分類ごとに、候補地の選択で最も多かったものは、アクセス「明らかに駅前」42人、活性化「明らかに駅前」17人、安全「どちらかといえば駅前」25人、周辺環境「どちらかといえば駅前」21人、駐車場「どちらかといえば病院」24人でした。

以上から重要視された5分類のうち4分類で駅前が評価されており、駐車場のみが病院跡地が評価されております。

これらの分類を重視する方の自由記述をAIによりまとめますと、アクセスでは、「駅前はバスや電車などの公共交通機関が整っており、行きやすい」「高齢者や学生にも利用しやすい場所が駅前である」。活性化では、「新しい図書館ができることで駅前が活性化し、花巻の印象が良くなる」「観光客や花巻市民が利用しやすく、町の発展につながる」とまとめられています。同様にAIでまとめた安全は「駅前は交番が近く、明るく夜間も安心」「人通りが多い駅前のほうが安全である」。周辺環境は「人通りが多く、夜でも明るくて安心できるため、賑やかな場所であることが魅力的である」とされています。

駐車場については、病院跡地を評価する意見が多くありました。

重要視される5分類のうち4分類で駅前の方が評価されていることがわかりましたので、市は「花巻駅前」を候補地として選択したいと考えております。

市では、多くの市民に利用され、花巻市全体の活性化にも寄与することが期待される「花巻駅前」を新花巻図書館の建設候補地として選択し、新花巻図書館整備基本計画を策定したいと考えております。

なお、市民会議で出された病院跡地が良いとする意見では、駐車場の使いやすさ、そして静かな環境などの意見もございましたので、新花巻図書館の整備にあたりましては、そのような意見や、17ページのなかほどに記載しております「検討にあたり」、こちらに記載しております内容も踏まえまして整備できるよう検討してまいりたいと考えております。

また、今後、花巻駅前に新花巻図書館を整備するにあたって、引き続き市民の声を聴く機会を設けるなど、市民の意見を反映させながら整備を進めたいと考えております。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

(岩間総合政策部長)

資料についての説明が終わりました。ご質問ご意見等ありましたら、挙手の上発言をお願いいたします。

照井明子議員。

（照井明子議員）

まずは市民会議の皆さん、それから担当された職員の方々にご苦労様ということでお話し申し上げたいと思います。

市民会議の結果はこの通りでありますでしょうけれども、私、最後のですね、結果を踏まえて市ではという、花巻駅前を新花巻図書館の建設候補地として選択したいという、そうした報告に対しては異論があります。というのは、市民会議は市民会議なんですよ。それで、花巻市で考えてほしいことは、市民会議の結果はこの通りであったとしても、このまなび学園周辺がいいという署名の数ですね、1万筆、これが反映されてないんですね。この数に1万を足すべきですよ。まなび学園周辺、病院跡地というね、意見を反映するんであれば。一生懸命市民の意見を反映しますって述べてますよね。そうした署名の反映について、反映されたんですか。そして、こうした結論に至ったということですか。そのところをもう少し合理的な理由を説明してください。理解できません。

（岩間総合政策部長）

菅野生涯学習部長。

（菅野生涯学習部長）

ありがとうございます。署名1万件というお話でございましたけれども、あまりこのような話はしたくないですが、1万と市の方では捉えておりませんで、県外の方とか、あとどう見ても同じ方が書いたとかいうものが見られましたので、それでも6割程度の署名はあったと思ってございます。それを6,000として、一方で、JR花巻駅前がいいよというご意見もいただいております。それをどう足してとか、どっちが多いとかっていう判断はつきかねますので、このような会議をして、市民の方に対話していただいて、両方の候補地について、公平な目で見ていただいて、この項目であれば、どっちがいいってというような形で判断していただいた結果を重く受け止めて建設候補地を考えたというものでございます。

なお、署名いただいた方々の請願の中には、宮沢賢治ゆかりの地がいいというご意見をいただきました。花巻駅前もゆかりの地となつてございますのでこの部分は満たしていると思いますし、市民の交流の場となる多目的スペースを備えた図書館にしてくださいというお話もありました。それは作っていく予定になっております。

あとは騒音や駐車場の問題についても対応を考えていきたいということで、ここのところについては対応していくということで考えてございます。

（岩間総合政策部長）

よろしいでしょうか。はい。

その他ございますでしょうか。

本館憲一議員。

(本館憲一議員)

今、照井明子議員に関連してですけども、これまでにですね、市民の皆さんから総合花巻病院跡地に要望する市民の声とか、先ほど話されました署名簿は、多く出されておるんですよ。このように花巻駅前を建設候補地とするということを市民会議だけで決めたと、その意向だけで決めたとのことですね、私ちょっとね、疑問が残るんです。この市民会議が全てだというふうに受け取るんですよ。

それで、先ほど言われました、建設場所、要するに花巻病院跡地を希望するですね、一方の市民の声をどのようにですね、判断したのか。その説明が必要だと思うんです。この市民会議の結果だけじゃなく。私はそう思いますよ。まず一つそれ。

(岩間総合政策部長)

菅野生涯学習部長。

(菅野生涯学習部長)

何度もご説明しておりますけれども、駅前の土地がいいというご意見もいただいております。その上で病院跡地がいいという意見の方々も活発に活動なされているということで、存じておりますけれども、その上で建設候補地を2ヶ所に絞って、このような形で進めたところでございます。

市民会議が全てと、市民会議が決めたとということではなくて、市民会議で、どちらかという結果で出してもらったものではありません。この項目であれば、どちらがいい、その上で重視する項目はどれですよという形でお一人お一人の意見を出していただきました。それを判断した結果、市といたしましても、市民会議で出た意見と同じように、駅前を活性化させたい、いろんな方が集まっていただけるように、アクセスのいいところに建てたいというのは同じように考えましたので、JR駅前がふさわしいと判断したところでございます。

(岩間総合政策部長)

本館憲一議員。

(本館憲一議員)

先ほどですね、市民会議のメンバーに市民の片一方の声があるということを市民会議のメンバーに提示したというか、知らせたというお話をされてますけども、それは本当なんですか。総合花巻病院がいいという要望があったと、多くの市民から、それから署名簿がたくさんありますとそういうことを市民会議のメンバーに話しされてるんですか、したんですか。

(岩間総合政策部長)

梅原新花巻図書館計画室長。

(梅原新花巻図書館計画室長)

先ほどご説明の中でも申し上げましたけれども、市民会議のそれぞれの回ごとに、市から説明の時間を設けておりまして、最初（第1回目）にどのような要望があったか、要望内容について説明いたしました。さらに補足として、署名について詳しい内容と、同じように高校生からアンケートをとった報告書もありましたので、それぞれご説明しております。先ほど部長からも署名をたくさんいただいていることについてのお話をさせていただきましたが、署名についても、駅前を希望する方についても、そういったお声は市としてもとても大事なものと受け止めておりますが、今回の市民会議は15歳以上の市民の方から無作為で3,500人を抽出して、希望された方75名で構成いたしております。年代を見ても10代11人、20代12人、30代12人、40代8人、50代9名、60代17人、70代以上が6人と、60代の参加希望者が多くなってはいますが、おおむね各年代とも参加希望者がございまして、各年代の意見を聞くことができるような状況であったと考えております。その中には署名を書いちゃった方もメンバーに入っていたでしょうし、実際にそのような方も見受けられましたので、片方だけの意見を聞いたような、そういう市民会議の場ではなかったと考えており、そのような場で意見をまとめていただいて、出していただいた意見を踏まえて、市で駅前の方に選択したということでございます。

(岩間総合政策部長)

本館憲一議員。

(本館憲一議員)

一般質問で、私質問しなかったんですけども、市民会議のメンバーが3,500人の中から希望者を募ったと、そして75名に絞ったと、しかし、欠席者もありますし、だんだん参加者が減っておりますよね。その中で果たして市民の全体の、9万人近くのですよね、意見を反映しているのかと。

それともう一つ、ファシリテーターが各グループに、11グループについてますよね。市職員が。

それと、どのデータ、何のデータを出したのか、私達はわかりません。ちゃんと公平なデータを出したのかですね、疑って申し訳ないんですけども、そういうことからしてね、果たして市民会議は市民の意見を反映しているんだろうかという、疑問は持ってます。今も。ということで、いつかの機会にこのこととお話したいんですけども、それともう一つですね、46ページになりますけども、下の方、この46ページ、16ページです。すみません。新花巻図書館整備基本計画を策定したいと思ってます、考えてますと書いてありますよね。これね、計画案じゃないですか、あくまでも。これから、要するに市民参画行っているいろんな意見をもらうでしょう。案なんですよ。そこら辺どうですか。

(岩間総合政策部長)

菅野生涯学習部長。

(菅野生涯学習部長)

まずは案ということで、市民参画を経て、その結果を受けて案を作って、教育委員会議でも承認されて整備基本計画ということになります。この基本計画を策定するという意味でございます。

(本館憲一議員)

訂正しますね。

(菅野生涯学習部長)

最終的には計画を策定するというのは変わらないことでございます。

(岩間総合政策部長)

その他ございますでしょうか。

櫻井肇議員。

(櫻井肇議員)

今回、駅前にということで、方向性が示されたという市側のご説明でありましたが、そもそもこの市民会議というのは、いわゆる建設候補地の比較調査ですよね。絞ってですよ、これは。

決定的だったのはこのヒアリングシートですよ、一番重要なのはね。そこで事務的に伺いますが、この二つの視点、10の分類、これはどこから出てきたんですか。

市側からこういう視点分類ということで、シートに記入をお願いしたのでしょうか。それとも何かの基準ですとか、誰かと、専門家と相談したとか、そういう経過でこういうことになったのか、その点だけ伺います。

(岩間総合政策部長)

梅原新花巻図書館計画室長。

(梅原新花巻図書館計画室長)

この10の分類ですけれども、第1回目の市民会議において皆さんにグループ内でメリットやデメリットを、それぞれの建設候補地について出していただきました。グループ内で分類可能な場合は、分類もしていただきましたが、それらを全てテキスト化しまして、AIに読み込ませてまとめております。10項目もAIで項目立てしております。

二つの大きな視点については山口教授に指導いただきながら分けました。

(岩間総合政策部長)

櫻井肇議員。

(櫻井肇議員)

そうしますと、整理して考えますと、AIの判断ということですが、こういうことです

か。当初はこの分類については、10がちっとはめ込んだものではないと。話をしているうちにまとまっていったと。我々もワークショップの経験はありますから、そうなるのはそうなのでしょうが、どうなのでしょう。要するに何が言いたいかわかりますよね。言いますか、直接。市側が意図的にこの分類したんじゃないのと、いわゆる誘導じゃないのというふうに見られる可能性もある、議員から見れば。ということで、失礼ですがお伺いした次第です。

（岩間総合政策部長）

その他ご質問等。

梅原新花巻図書館計画室長。

（梅原新花巻図書館計画室長）

先ほどの回答に追加ですけれども、皆さんが出していただいたメリットやデメリットをAIで分類したもの、AIがまとめたものについては、毎回参加者の皆さんに不足がないか間違っていないかを確認していただいております。皆さんの確認を踏まえた結果でございます。

（岩間総合政策部長）

市川新花巻図書館計画室副主幹。

（市川新花巻図書館計画室副主幹）

もう少し補足させていただきますと、最初にメリット・デメリットをグループごとに考えていただいた段階で、グループごとにもう、活性化とかですね、これは文化とかだよねとか、もうグループで分類もしてきてます。それも含めてテキストにして、AIに考えてもらって、AIがまとめた上で、分類の項目もAIが打ち出してきたものであります。それを次の会議で皆さんに見せて確認をして、あるいは直してもらって、その上で次の会議に進んでいった、というものでございますので、こちらの方で特にこうやってとか、最初からこうあったっていうものではないです。

以上です。

（岩間総合政策部長）

その他。

高橋修議員。

（高橋修議員）

はい。1点伺います。これ、駅前を候補地として基本計画というふうに方向性で進めていくということですが、これ、JRさんは、あの場所をもう売却してくれるっていうことを前提に進めるということでしょうか。もし売却にならない場合はそれでもあれ以外の場所に駅前に建てるということでしょうか。

(岩間総合政策部長)

市川新花巻図書館計画室副主幹。

(市川新花巻図書館計画室副主幹)

はい。これまで議会でもご説明してきている通り、JRさんとの交渉の中では、JRから、譲ってもいい条件というのを出されています。その条件で金額等についても、これまで積算して、駅前ですとその土地代金なども含めた数字をお出しして、皆さんにも説明しているという状況です。

JRさんとしては、その協議に応じ、その条件金額とかも出していただいていますので、これから花巻市ではこちらを候補地にしたいというお話をして、当初いただいていた条件で進めていきたいというふうに我々は考えているというところでございます。

(岩間総合政策部長)

高橋修議員。

(高橋修議員)

はい。あと質問ではないですけども、今日こういう説明会を開けば、こういうふうに紛糾するってことは想像ついて皆さん緊張してきていると思うんですよね。

なぜ、こういう重要なときに、もう昼時間入りましたけど、市長が同席しないのか。私は甚だ疑問です。これぜひ本人に伝えていただきたいんですけど、こういうふうになることを、明日新聞に出るんですよね。こういうときに市長が同席してないっていうことは、ちょっと私としてはいかなものかなと思いますので、これはぜひ本人に伝えてください。

以上です。

(岩間総合政策部長)

その他ございますでしょうか。

内舘桂議員。

(内舘桂議員)

背が高いものですから、マイクを持って喋りますが、大変ご苦労様でございます。

10年もこうした議論をしながら、こうした報告をしたということでは、職員の皆さんはご苦労さんだなというふうに思っております。

ただ、私はやっぱりこの10年見てますとですね、何が問題だったのかということを考えてみました。

市民参画手続をとりながら、花巻病院跡地に図書館を建てるっていうような、立地適正化計画、これはパブリックコメントをしながら、市民の皆さんの了解を得て、いわゆる手続を経て、了解されたものだというふうに思っております。ところが、なぜかわからないけれども、駅前だとそういう話がありました。手続的に市民参画の手続がしっかりされてきたもの、何か当局が歪めてしまったんじゃないかと、そうしたことが、こうした問題を

引き起こしているのではないかというふうに思っております。その点はいかがお考えですか。

（岩間総合政策部長）

市川新花巻図書館計画室副主幹。

（市川新花巻図書館計画室副主幹）

はい。これも、これまでお話してきてますが、立地適正化計画のときはですね、あの、まなび学園周辺に図書館を移転する、それは、総合花巻病院移転というのに補助金をもらうという関係もあって、そのような書き方をしてきたというご説明はこれまでもしてきました。その上で、その後、新花巻図書館の整備基本構想を作ってるわけですが、そのときは当然市民参画の手続をした上でやっていますが、そこでは場所を定めてないですね。それはなぜかという、駅に近い方がいいんじゃないかっていうご意見、もう少し駅に近い方、駅前の方がいいんじゃないのっていうご意見もあって、そういうのを踏まえて、基本構想を作った。立地の次の基本構想を作った段階では、場所を定めないでこれからつくる基本計画で、場所を定めますというふうにしてる。ですね。そういう中で、それも市民参画してやってるわけですよ。ですから、立地適正化計画のときに市民参画取ったんだから、それを変えては駄目だってことは全くないと思ってますし、遡れば、平成25年、最初、今の総合花巻病院に図書館を作るという計画がありました。それだってもちろん市民参画の手続を取ってやったわけですね。それも、やはりそのときの情勢、有害物質が出てきたとかそういうこともあって、変わったわけですね。そういうのはそのときそのときで、やはりいろんな人の意見を聞きながら、変わっていくわけですから、立地適正化計画のときに、それ決まったからもうそれが絶対だってことはないということについてはご理解をいただけるのではないかというふうに思っております。

（岩間総合政策部長）

内館桂議員。

（内館桂議員）

そういう変更の手続も含めてですね、市民参画がやっぱり必要だということでのお話だと、私承りました。

私も議員になって、やっぱり議員として責任を持つということであればですね、私も26年でございますから、27年の立地適正化計画というのがスタートだというふうに私は思っています。それがやはり市民の間には広がったことがですね、一つのきっかけではないのかという思いもしております。変更があるというのは当然でしょうけれども、その変更の説明がですね、もしかしたらこんにちこれだけ長い時間を要させた原因でもあるのではないかなと、私は思ってます。従ってですね、これだけの時間を要する、要した、そのやっぱりですね、ここに問題があったかどうかってことはやっぱり、その計画を発する当局の方でも、責任、あるいは市政のあり方、これがやっぱり市民の皆さんにはですね、大きな歪みとして受け止められるという部分があるんじゃないかなというふうに思っております。

そうしたことも踏まえますとですね、まだまだこの先議論が必要になってくるかという思いであります。私の意見です。

（岩間総合政策部長）

ありがとうございます。

その他ございますでしょうか。

はい。羽山るみ子議員。

（羽山るみ子議員）

はい。先ほど本館議員からもちょっとお話ありましたけれども、市民会議の資料に関してですね、ちょっと疑問を持つというようなこと、先ほどお話ありましたけれども、署名、実行委員会、病院跡地を希望する皆様の会の方ですね、独自にメリット・デメリットを調査いたしまして資料を作ったんですね。それで市民会議の資料にも使ってほしいとお話をしたはずですが、それは否定されたとおっしゃってありました。その否定された理由も私は聞いてはいなかったんですね。やはりそうした部分でも、市民からの不信感というものがあるんじゃないかなと思っておりますけれども、そしてまたですね、ヒアリングシートの分析を見ますと、どちらでもいいっていう方がすごく多いわけですね。この結果を踏まえて、駅前にするという判断もあまりにも乱暴ではないかなと感じているところでございます。

まずは署名委員会の資料を否定したということについてお聞きをしたいと思います。

（岩間総合政策部長）

高橋新花巻図書館計画室次長。

（高橋新花巻図書館計画室次長）

先ほど、梅原室長からもどのような形で会を進めたかについてご回答いただきましたが、山口ファシリテーターは、まず参加者の心理的安全性を守りたいということがまず第1でした。その考えに基づき、傍聴要領を作成させていただいて、参加者の方が特定されず、まず批判されないようにすることを重要視させていただきました。

先ほど羽山議員がおっしゃった、資料として、署名実行委員会の方が出した資料を活用すべきではないかというご意見ですが、いろんな情報があると大変ですので、まずは参加者が求める情報を出すということで整理させていただいています。

また、本館議員がおっしゃった、偏った資料があるのではないかと疑義があるのご意見ですが、市川、梅原が説明した通り、今回、要約はAI等を使わせていただいていますので、市の意思というのはほぼ入っていない状況であり、中立的な資料を出していたと考えております。

（岩間総合政策部長）

菅野生涯学習部長。

(菅野生涯学習部長)

会議をやっているときに、第三者から資料を受け付けていたらきりがありませんし、そういうことはやらない方がいいことはご理解いただきたいと思います。

あとその上でどちらでも良いというのはどっちでもいいということではなくてどちらに建ってもいいですよと、病院跡地も駅前も差がありませんよという選択ですので、無責任な回答として捉えてはございません。

(岩間総合政策部長)

羽山るみ子議員。

(羽山るみ子議員)

すいません。このどちらでも良いというものに対してはですね、無責任な回答とは全然思っておりません。ですから、駅の方がトータルして微妙に多いかもしれませんけれども、このどちらでも良いという方の数の多さですね、見ますと、ここで駅前と決めるのは乱暴ではないかなとそういったことを申し上げたまででございます。

そしてですね、先ほどAIが分析したのは確かにわかりますけれども、AIは資料を作ったのではないですよ。私は市民会議を始める前の皆様に対する資料のことを申し上げたのでちょっとそこは違ったかなと思いました。はい。

(岩間総合政策部長)

市川新花巻図書館計画室副主幹。

(市川新花巻図書館計画室副主幹)

はい。資料についてはですね、メリット・デメリットを検討していただいている中で、いろいろやはり資料とかですね、要望なんかも見ながら、例えばですね、早池峰山が見えるとか意見があるわけですね。病院跡地だと早池峰山が見えると。一方で、駅前だったら西の山が見えるのでないかとかっていう意見が出てきて、それについて、例えば実際にどうなってるのというような意見が書かれてくるんです。それについて我々が実際に写真撮って、病院跡地に建った場合には、早池峰山は見えないとかですね、駅の方だと、西の山は見えるとかですね、写真のデータを資料として渡しています。例えばそういうようなものとか、学校に近いというメリットを挙げる方がありましたが、どこの学校に近いんだっていう質問などもあります。それで小学校、病院跡地からですと、どれぐらいの距離に小学校・中学校があるか、あるいは高校も、どこまであるか。駅前に建った場合はどれぐらいの距離があるかっていうような資料も出しています。飲食店が多い、飲食店がないとかって、それぞれ同じような意見がありました。それについては、飲食店の分布図を出して見ていただいたと、そういうようなことですので、決して偏った意見の資料を出しているということはないです。

(岩間総合政策部長)

よろしいでしょうか。

その他ございますでしょうか。

小森田郁也議員。

（小森田郁也議員）

はい。市民会議の開催、お疲れ様でございました。ヒアリングシートの分析、確認5にですね今回の選定のプロセスに関わった感想などを自由記載いただいております。ちょっと詳細なところまで、まだ今の時間で見切れていないので、確認ですけれども、感想の部分ですね、先ほども署名に関わった方々も、今回会議には参加していただいているということでしたが、このヒアリングシートの感想や、もしくはそれ以外の部分にこの市民会議の進め方に関して不満の声だったり、批判の声は寄せられましたでしょうか、お伺いいたします。

（岩間総合政策部長）

菅野生涯学習部長。

（菅野生涯学習部長）

やはり、4回、4時間ということで、時間が長いとおっしゃる方はいらっしゃいました。あとは進行上ですね、ちょっと前回の振り返りとか資料の説明で、こちらでやるんですけれども、その分、時間、前もって資料送ってるので、もったいないんじゃないかななどというご意見はいただいております。

（岩間総合政策部長）

梅原新花巻図書館計画室長。

（梅原新花巻図書館計画室長）

今部長がお話ししましたけれども、会議の時間が長かった、また、説明の時間が長かったと書いた方もいらっしゃいますが、逆にその説明の時間で整理ができたので良かったと書いた方もいらっしゃいます。

今回、各グループで、メリットやデメリットなどを本当に、とことん話し合い意見を出していただきましたので、市から提供する資料はある程度絞って出しても良かったのではないかなというような意見もありましたが、私達はまず、同じ資料を皆さんに出したい、情報は全て皆さんに出したいと思っておりましたので、このような方法を取りましたが、そのようなご意見もございました。

また、年代を超えて、いろいろお話ができた、片方どちらかがいいと思っていたけれども、グループなどで話し合いをしていくうちに、どちらの場所でもいい図書館は建つと思うようになった、などおおむね肯定的なご意見の方が多かったです。

（岩間総合政策部長）

小森田郁也議員。

(小森田郁也議員)

はい。先ほど内館議員のお話に出てきましたけれども、これまでの経緯に関しては、私は反省していただく部分もあったのかなというふうに思っておりますけれども、この4時間、4日間会議を重ねて出していただいた、この市民の皆さんに出していただいた結果は、私は支持したいと考えています。

議会でもですね、こういった時間をかけた自由討議、今後必要になると思いますので、私達も見習わなくてはいけないなと感じました。

以上です。

(岩間総合政策部長)

その他ございますでしょうか。

はい。佐藤峰樹議員。

(佐藤峰樹議員)

はい。一つだけ確認いたします。

今後の市民参画のスケジュール、もし固まっているのであれば、お伺いします。

(岩間総合政策部長)

梅原新花巻図書館計画室長。

(梅原新花巻図書館計画室長)

現在基本計画試案の状態を案にいたしまして、教育委員会等にご説明した後で、パブリックコメント、市民説明会を各地域で1回ずつ、図書館協議会でご意見を伺うといった市民参画の手続に入っていきたいと考えております。その市民参画を経て、いただいたご意見を計画案の中に反映するなどして計画を策定していきたいと思っております。

(岩間総合政策部長)

よろしいでしょうか。

佐藤峰樹議員。

(佐藤峰樹議員)

はい。流れる的なものは伺いましたが、いつというのはまだこれからですね。

(岩間総合政策部長)

梅原新花巻図書館計画室長。

(梅原新花巻図書館計画室長)

申し訳ありません。

時期は、基本計画案を今月中にまとめて、3月下旬からパブリックコメント、市民説明会等は、来年度4月に実施と考えております。

(岩間総合政策部長)

よろしいでしょうか。

それ以外の方いらっしゃいますでしょうか。

はい、久保田彰孝議員。

(久保田彰孝議員)

私は櫻井議員が言いましたが、やっぱり分類を何入れるかというところで、私は決定的な違いはね、やっぱりアクセスを入れたところに、やっぱり当然駅前と病院跡地を比較したときに、どっちがいいんだっていったら、アクセスの良さはもう抜群に駅がいいわけだよ。そういう意味ではね、私はね、こういう比べ方でいいのかということ言いたいと思います。

(岩間総合政策部長)

梅原新花巻図書館計画室長。

(梅原新花巻図書館計画室長)

先ほどもお話ししましたが、第1回目で、参加者の皆さんにそれぞれの候補地のメリットやデメリットを出していただきました。グループによっては出したメリット・デメリットの分類もしていただきましたが、それらを全てテキスト化して、AIに読み込ませて、多かったメリット・デメリットのご意見の中から、AIが項目としてアクセスなど10項目を選びましたので、グループ内で皆さんがメリットとデメリットで書いていただいた項目、内容にアクセスが多かったということ。そのほか10項目についても同じように、内容が多いものを分類名としてAIがつけたことになります。

(岩間総合政策部長)

菅野生涯学習部長。

(菅野生涯学習部長)

AIが多いと言ったわけではなくて、JRの駅前の土地が皆さん、アクセスがよいと。この部分については、JRの方が花巻病院跡地よりよいという結果が出たというもので、JR用地が花巻図書館を建てるのにアクセスが良いというのは、久保田議員が今おっしゃったように同じ思いでございます。市民会議においても。

(岩間総合政策部長)

市川新花巻図書館計画室副主幹。

(市川新花巻図書館計画室副主幹)

はい。最初に各候補地ごとにメリット・デメリットをこう書いていく中で、もちろん駅前についてアクセスっていうか行きやすいとかですね、駅から近いとかですね、バスがあ

っていいとかってそういう意見はたくさん出るわけですね。それでグループごとに、グループでもアクセスって分類してきてるところもあったわけで、数が多かったと思います。一方で、病院側だってアクセスがいいって書いてくる人たちもあったんです。メリットとして。道路から行きやすいとかいろいろそういう意見もないわけではないんです。そうすると、全体をAIにかけたときに、両方で比較するのは、アクセスっていう項目にまとまって出てくるわけですね。

それで比較する分類は我々が考えたんじゃないくて、全体の意見の中から10個分類したということなのでご理解をいただきたいと思います。

(岩間総合政策部長)

その他ございますでしょうか。

鹿討康弘議員。

(鹿討康弘議員)

はい。本当にお疲れ様です。私も初回は行けませんでしたけど、3回、市民会議の方に出て、市の職員の方々、またその委員の方々、非常に一生懸命やってらっしゃると、敬意を表したいと思います。

ちょっと視点が違うんですが、なぜ今日の議員説明会、それも追加で今日このときになったのか、傍聴も誰も来てないですね。なぜ今日このときになったのか。それをちょっと聞きたいんですが。

(岩間総合政策部長)

菅野生涯学習部長。

(菅野生涯学習部長)

当初計画を立てるときに市民会議3回実施ということで、1月に終了する予定をしておりました。ですので、その後整理して市として方向性を出して、今定例会前、一般質問を受け付ける前に説明できるのではないかと考えて計画を立てたんですけれども、2月にもう一度市民会議が出て、その後、その結果を集計して、さらに当日ヒアリングシートを提出していただいたんですけれども、やはり説明にもありましたように、欠席した方の考えもやはり聞くべきだということで、その方たちにもヒアリングシートを送って考えていただいて提出していただいてという時間が、ちょっとかかりまして、ただ、やはりこちらでも早く方向性を示さなければということで今の時期になりました。

昨日は羽山議員さんの質問に、いつごろになりますかということで、ああいう答えになりましたけれども、ぜひ早めに方向性を議員さん方に伝えた上で、次のいろんな会議に諮っていかねばならないので、こういう日程になってしまったということでご理解いただきたいと思います。

(岩間総合政策部長)

鹿討康弘議員。

(鹿討康弘議員)

市民会議は元々予備日として4回、2月のものも含まれてたと思うので、ちょっと今の説明だと、それも想定した上での計画っていうのが本来ならばできるんじゃないかなとは思うんですね。例えば19日の本会議終わった後でもいいわけじゃないですか。例えば。昨日議会中って言ったから、議会中なんだろうけど、でも傍聴の方がね、いない中でのそういった発表の仕方というのが、またいろんな憶測を呼んだりとか、いろんな反対意見の温床になったりすると思うんですよ。

だから会の開き方とか、運営の仕方ということをもう少し考えてやっていただけたらいいのかなというふうに私は思います。

以上です。

(岩間総合政策部長)

その他ございますでしょうか。

それでは、ないようでございますので、長時間にわたりありがとうございました。

以上をもちまして本日の議員説明会を終了させていただきます。

ありがとうございました。